



ゆずり葉

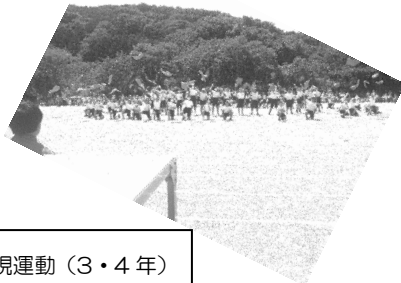
二宮町立山西小学校
学校便り「ゆずり葉」
第 107 号
山西小学校 72-3777

○ 運動会、やっぱり良いものです

六月五日(土)に運動会が行われました。今年度も規模を縮小した内容でしたが、子どもたちは、一杯頑張ることができました。徒競走でも表現運動でも、**自分で目標をもって練習に励みました。本番の真剣な態度に練習の成果が表れていました。**ですから、観ている人たちが感動するのではないでしょう



徒競走



表現運動 (3・4年)

六年生にとっては、小学校最後の運動会。練習態度や係活動に、**「プライド」**を感じました。学校の良き伝統をつくっていくことでしょう。



表現運動 (5・6年)

○ 正しく言葉で伝える

カタカナの「ヲ」という文字を最後に書いたのはいつのことであろうか。

書くことが多くなっていますので、意識してペンを持つて文字を書くようにしています。しかしながら、「ヲ」という文字を使う場面が無いのです。

六月、二、六年生を対象にカタカナがどれだけ書けるかのチェックを行いました。その結果は表の通りです。

ひらがな、漢字、カタカナの三種類の文字を使い分ける日本では、小学校で習うことが殆どです。漢

正しく書けなかった文字上位6つ					
1	又	(22%)	4	ヨ	(11%)
2	ヲ	(20%)	5	ケ	(11%)
3	メ	(11%)	6	ヒ	(11%)

求められる学力の一つに「表現力」があります。

字もそうですが、何度も練習して覚えようと頑張りますが、テストが終わってしまつと、**その文字を使う場面が無くなり忘れてしまうことが多**いようです。また、携帯電話やタブレット、パソコンを使うことが当たり前のようになり、**文字を書く時間そのものが減っている**と感じます。(一人1台の端末は文房具の一つになるうとしています。) **「文字を書く」が「文字を打つ」**に変わってきているのではないのでしょうか。

自分の考えを分りやすく相手に伝える力です。先日六年生を対象に行われた学力・学習状況調査の問題を見て「なるほど。」と思つたところがありました。それは算数の問題で、どのようにして解こうとしたのかを文章で書かせるものでした。これまでの算数のテストは、式と答えのみを書かせるものが殆どでしたが、**その式を立てるための考えも書かせようとしていたのです。**

現在行っている授業では、答えとともにその根拠を述べることを意識しています。二期期は、**自分の考えを言葉や文章を使って正しく簡潔に伝えられる**力を付けていこうと考えています。

ご家庭や地域でも、子どもたちとたくさん**対話**してください。その中で、正しい言葉遣いを学んだり適切な語彙を増やしたりができます。正しく対話できる人は、人とのトラブルを避け、より良い人間関係を築くことができます。平和な世の中をつくるためには対話が必要です。

○ 旗振り当番セットを再開します

新型コロナウイルス感染症対策のために休止していた**「旗振りセット」**の使用を**二学期から再開**します。引き続き、ご自身の交通安全や感染症予防に留意して見守りを行ってください。「見守る」という力は、安全という大きな力となっています。どうぞよろしくお願ひします。